◎向日市民憲章◎
1　住みよいまちを力を合わせつくりましょう
1　きれいな緑と水と空を守りましょう
1　働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
1　すぐれた教育と文化を育てましょう
1　明るいくらしと福祉のまちをきずきましょう

広報向日市

No.522
平成４年(1992年)３月１５日
◎発行　向日市役所(京都府向日市寺戸町中野20)
◎編集　秘書広報課　◎電話　075(931)1111

平成4年度予算案
総額 221億7,917万円

潤いのある魅力あるまちへ
積極的な施策の推進

平成四年度の予算案がまとまり、四日から開会されている三月定例市議会において、現在審議されています。
予算案の総額は、一般会計、特別会計の七会計で二百二十一億七千九百十七万二千円となりました。

予算規模

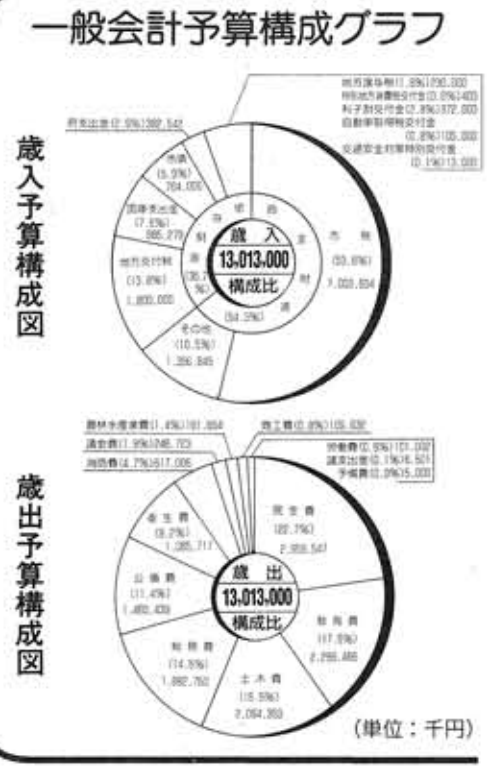
平成四年度当初予算案の規模は、一般会計百三十億一千三百万円、国民健康保険事業特別会計十九億九千六百十三万八千円、老人保健医療特別会計二十五億九千八百四十万円、下水道事業特別会計二十六億四千八百九十一万四千円、水道事業会計十九億二百九十万円、大字寺戸財産区特別会計七百九十万七千円、物集女財産区特別会計一千百九十一万三千円となっています。
この結果、予算総額は二百二十一億七千九百十七万二千円となり、対前年度比八億九千七百五十二万四千円の増額、率にして四・二%の伸びとなっています。

一般会計

◆市民のくらしを守り健康と福祉の向上◆
社会福祉では、地域福祉の拠点となる福祉会館の建設に向け、土質調査、建物実施設計を行います。
老人福祉では、お年寄りの健康保持と増進のため、ハリ・灸・マッサージ施術費の一部を助成します。また、一定の高齢者世帯に対し生活の安定を図るため、家賃の一部を助成します。
心身障害者福祉では、新たに「心身障害（児）者福祉のしおり」を発行します。
児童福祉では、生後2カ月以降の乳児を対象とした産休明け保育事業や、保護者の疾病や入院などで緊急・一時的に必要な児童保育を委託する一時的保育事業を実施します。
次に、市民の健康を守る施策として、リハビリ健康教室・リハビリ体操などへの送迎用リフトカーを購入します。
産業振興の面では、農道や用排水路など農業基盤整備の推進や、市民の花「ひまわり観賞園」を設置し、ふれあいの場を創造します。
商工振興では、地域経済の活性化促進のため、商工連合会に助成をします。
市民の生命と財産を守り安心して暮らせるまちづくりのため、救急救命処置用資機材を購入し、救急・救助体制を強化します。また、化学消防ポンプ自動車及び消防団第6分団普通ポンプ自動車を更新し、出動体制の強化を図ります。

◆住みよい生活環境の整備◆
西ノ岡丘陵一帯の緑を保全し、市民の憩いの場として整備します。
久世・北茶屋線の整備を進めるとともに、阪急東向日駅周辺再開発事業では、住民意向調査を行うなど計画的に推進を図ります。
清掃の面では、本市のごみの減量化・再資源化の方策を検討する「ごみ減量化推進協議会」を設置します。

◆心の豊かさをはぐくむ教育・文化の充実◆
学校教育については、各小学校、寺戸中学校にパソコンを配置する他、第2向陽小学校のグラウンドを改修するなど施設整備の充実を図ります。
社会教育については、生涯学習の一層の推進のため生涯学習啓発講演会や生涯学習大学などを開催します。
図書館では、計画的な図書の増冊に努めます。
文化振興では、16世紀頃の当時の町並みを復元した向日町絵図の作成や、特別展「向日町の400年展」を開催します。また、星空観測所の建設も進めていきます。
社会体育・スポーツ振興については、市民から強い要望のある市民温水プール建設に向け実施設計を行います。また、第2向陽小学校のグラウンドに夜間照明を設置します。
その他、市制施行20周年のメイン記念事業として「香夜(かぐや)フェスティバルin向日」を市民参加のもと実施するとともに、市制施行20周年記念市勢要覧を発行します。
また、中国杭州市経済視察団の受入や女性政策意識調査などを行います。



特別会計

国保会計
19億9613万円
被保険者の高齢化に伴う医療費の増大により、一般会計から大幅な繰入を行ってもなお、厳しい状況にありますが、助産費等の給付金額の改定を図るなど制度の充実と財政の健全化に努めています。

老人保健医療会計
25億9840万円
老人保健法に基づき、七十歳以上の人、及び六十五歳以上七十歳未満のねたきり老人等を対象とした医療費の給付に必要な経費を計上しています。

下水道会計
26億4891万円
平成7年度末完成を目指し、積極的に下水道整備の推進を図っていきます。
平成4年度末には、整備面積約五百四ヘクタール、整備人口約四万六千九百人、全人口普及率約八十八・九パーセントになる予定です。

水道会計
19億290万円
市民に豊富で良質の水を安定供給するため、計画的に取水井戸の改良、配水管の整備、漏水調査などを引続き実施し、有収率の向上を図り、給配水施設の維持管理に万全を期します。
また、地下水の適正な採取、生活用水を保全するため、地下水の汲み上げ規制を行います。

大字寺戸財産区
790万円
大字寺戸財産区の運営経費ならびに財産維持管理費を計上しています。

物集女財産区
1191万円
物集女財産区の運営経費ならびに財産維持管理費を計上しています。

市制施行20周年記念事業

平成4年度予算編成方針
誰もが住みたくなる ふるさとづくり

本市の平成4年度の財政見通しは、市税収入が、法人市民税の落ち込みの影響を受けるものの、個人市民税や固定資産税の伸びにより、7・0%増となる見込みです。
また、地方交付税の増収も見込まれる反面、義務的経費（人件費・扶助費・公債費）の増嵩や市民の要請に応える行政需要の増加もあいまって、なお厳しい状況にあります。
このようなことから、平成4年度予算の編成にあたりましては、重点的・計画的に事業の選択を行い、財源の効率的かつ重点的な配分を図る一方、財源の確保にも万全を期し健全財政の推進に意を払ったところであります。
平成4年度の当初予算案につきましては、時代の要請に応え、個性豊かなふるさとづくりを目指し、都市環境を整え、文化をはぐくみ、市民のくらしを高め、ふるさと向日市を21世紀に向かって、福祉と教育・文化の香り高い定住都市に築くため、諸施策を積極的に織り込みました。
市政執行に当たっては、
○市民のくらしを守り、健康と福祉の向上
○住みよい生活環境の整備
○心の豊かさをはぐくむ教育・文化の充実
の3項目を行政施策の柱として市民ニーズに応え、特に公約の実現を期し、山積する行政課題に対処したところであります。
とりわけ、平成4年度は、私の市長5期目の2年目にあたりますことから、決意を新たにして市民の信託に応えられる各種施策・事業の積極的な推進を図り、誰もが住みたくなるふるさとづくりに取り組みました。
すなわち、平成4年度当初予算案では、健康で生きがいのあるふるさとづくりのため、「福祉は行政の原点」との理念のもと、高齢化社会の進行に対応し、福祉会館の建設に取り組んだのをはじめ、老人生きがい対策や在宅福祉サービスの充実を図るとともに、新たに、高齢者世帯家賃助成、ハリ・灸・マッサージ施術費助成、ボランティア事業積立金補助、産休明け保育や一時的保育の実施に取り組むなど、多様できめ細やかな福祉・保健施策を推進いたしました。
また、快適な住環境を造り出すため、まちづくりの根幹をなす都市基盤の整備、特に街路、道路、河川、水路、雨水排除計画への積極的な対処など生活関連施設の整備に全力を注ぐ一方、駅前周辺の再開発への計画的な取組み、公営住宅や消防・防災施設の整備、上水の安定供給や公共下水道の保全、農業基盤整備や商工業の活性化対策などに努めました。
さらには、心豊かな文化的ふるさとづくりのため、教育環境や文化施策の充実、市民会館の大規模改修や永年の市民の要望でありました市民温水プールの建設に取り組むなど体育施設の整備にも意を注いだ次第です。
また、星空観測所の完成を期すとともに物集女車塚古墳整備事業への取組み、平和施策や国際交流、女性施策にも積極的に予算計上を行いました。
また、本市は昭和47年10月1日の市制施行から、今年で20周年という記念すべき年を迎え、さらなる発展を願い、ふるさと意識の高揚と文化の創造につながるような、夢とロマンに満ちた多彩な記念事業を、市民参加のもと行いたく思っています。

主な新規事業

■市民のくらしを守り健康と福祉の向上■
▽ゲートボール場整備
▽高齢者保健福祉推進特別事業
▽ハリ・灸・マッサージ施術費助成事業
▽高齢者世帯家賃助成事業
▽産休明け保育の実施
▽一時的保育事業の実施
▽リフトカーの購入
▽市民の花「ヒマワリ観賞園」の設置
▽高度救急救命処置用資機材の購入

■住みよい生活環境の整備■
▽「エコライフ向日」の発刊
▽ゴミ減量化推進協議会の設置
▽市営住宅建替（南垣内）基本設計

■心の豊かさをはぐくむ教育・文化の充実■
▽生涯学習啓発講演会の開催
▽市民大学の開催
▽青年指導者養成講座の開催
▽特別展「向日町の400年展」の開催
▽物集女車塚古墳整備
▽市民スポーツのつどいの開催

■各般にわたる新規事業■
▽市制20周年記念事業
▽杭州市経済視察団の受入
▽平和啓発用花の種の配布
▽女性セミナーの開催

星空観測所の建設